

市立豊中病院
令和2年度事業実績及び新型コロナウイルス感染症への
取組みについて

はじめに

- 新型コロナウイルスの感染拡大による医療活動への影響は大きく、当院においても、これまで経験したことのない様々な対応が必要となり、厳しい病院運営となった。
- 地域の急性期中核病院及び感染症指定医療機関(第二種)として、感染症病床の確保、入院・外来診療の制限、不急手術の延期など、感染動向に応じて体制整備を図りながら、感染症患者を受け入れた。

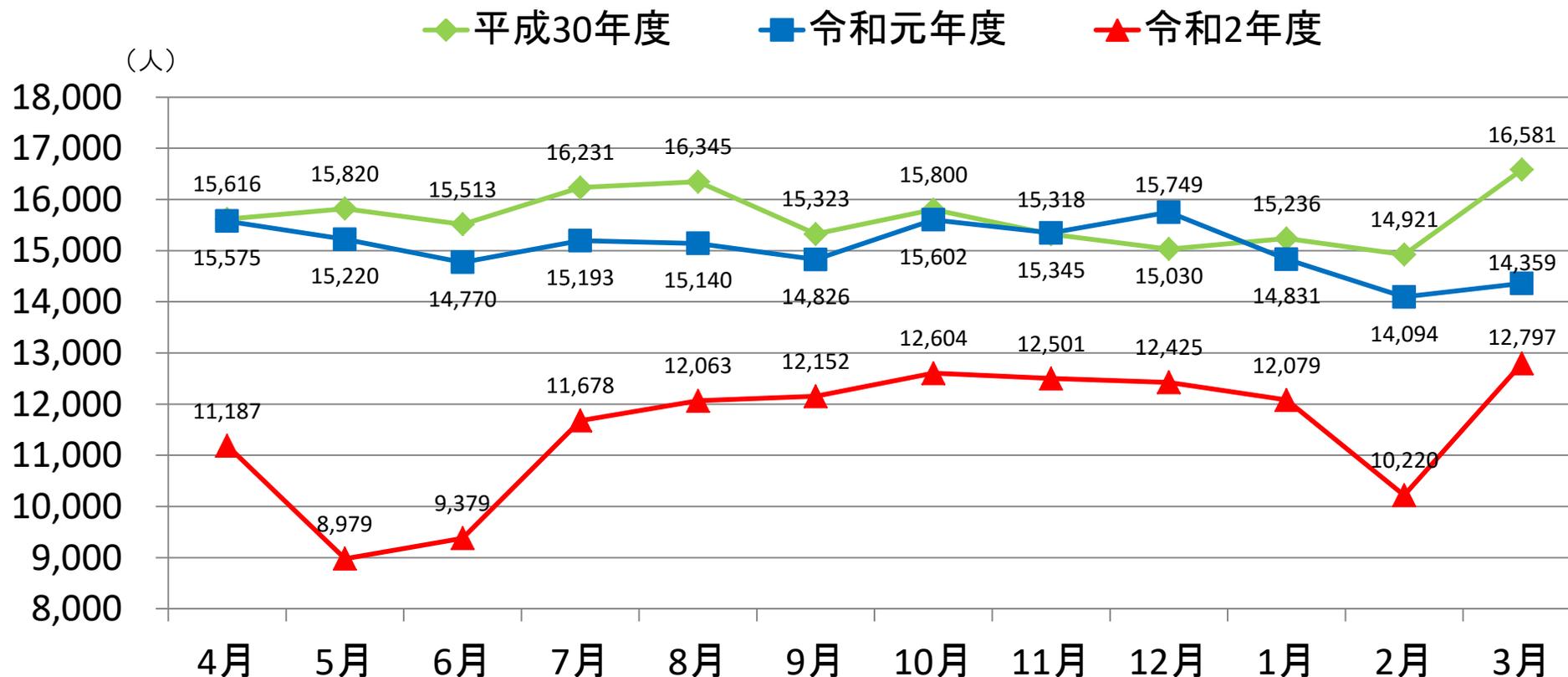
令和2年度事業実績

1. 主な診療実績の比較

	令和元年度	令和2年度	増減
新規入院患者数	15,875人	11,833人	▲4,042人
入院延患者数	180,704人	138,064人	▲42,640人
外来延患者数	289,639人	241,245人	▲48,394人
一般病床利用率	83.0%	63.6%	▲19.4%
平均在院日数	10.4日	10.7日	0.3日
全手術件数	5,269件	4,133件	▲1,136件
救急車搬送受入数	6,106人	3,776人	▲2,330人
救急科からの入院患者数	5,176人	3,242人	▲1,934人
入院診療単価	64,541円	70,119円	5,578円
外来診療単価	18,229円	19,137円	908円

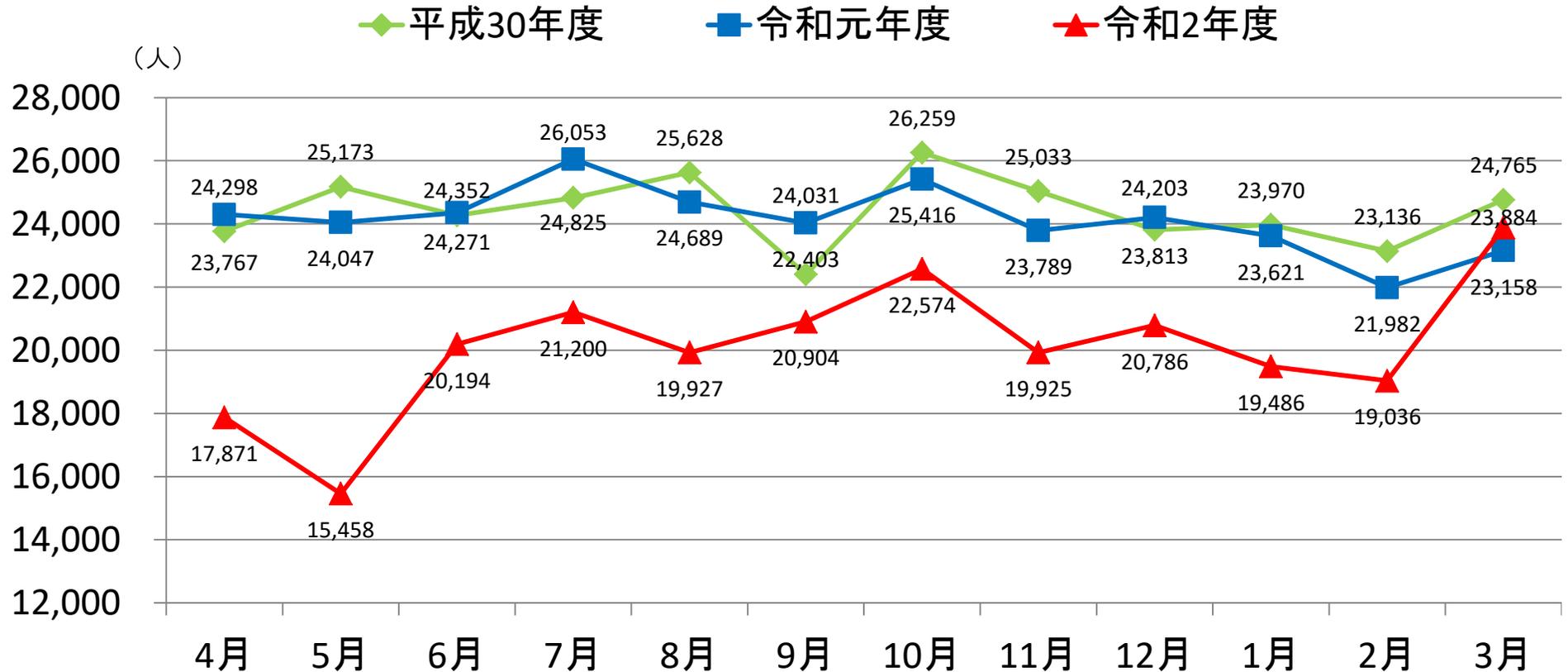
※一般病床利用率は、人間ドック(5床)・感染症(14床)を除く594床で計算

2. 入院延患者数の推移



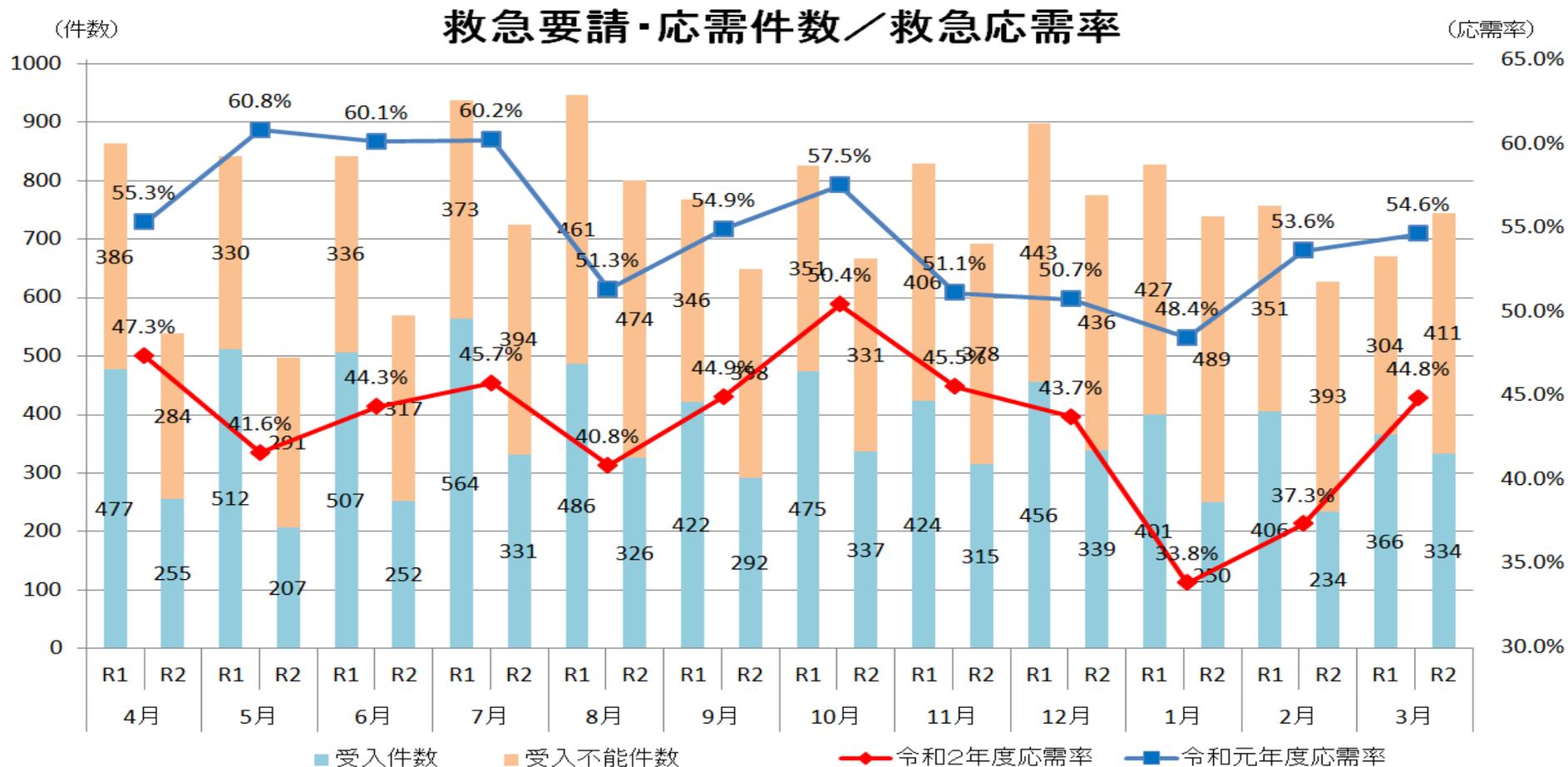
- 平成30年度と比べ、令和元年度は▲7,030人(▲3.7%)、令和2年度は▲49,670人(▲26.4%)で、さらに減少。

3. 外来延患者数の推移



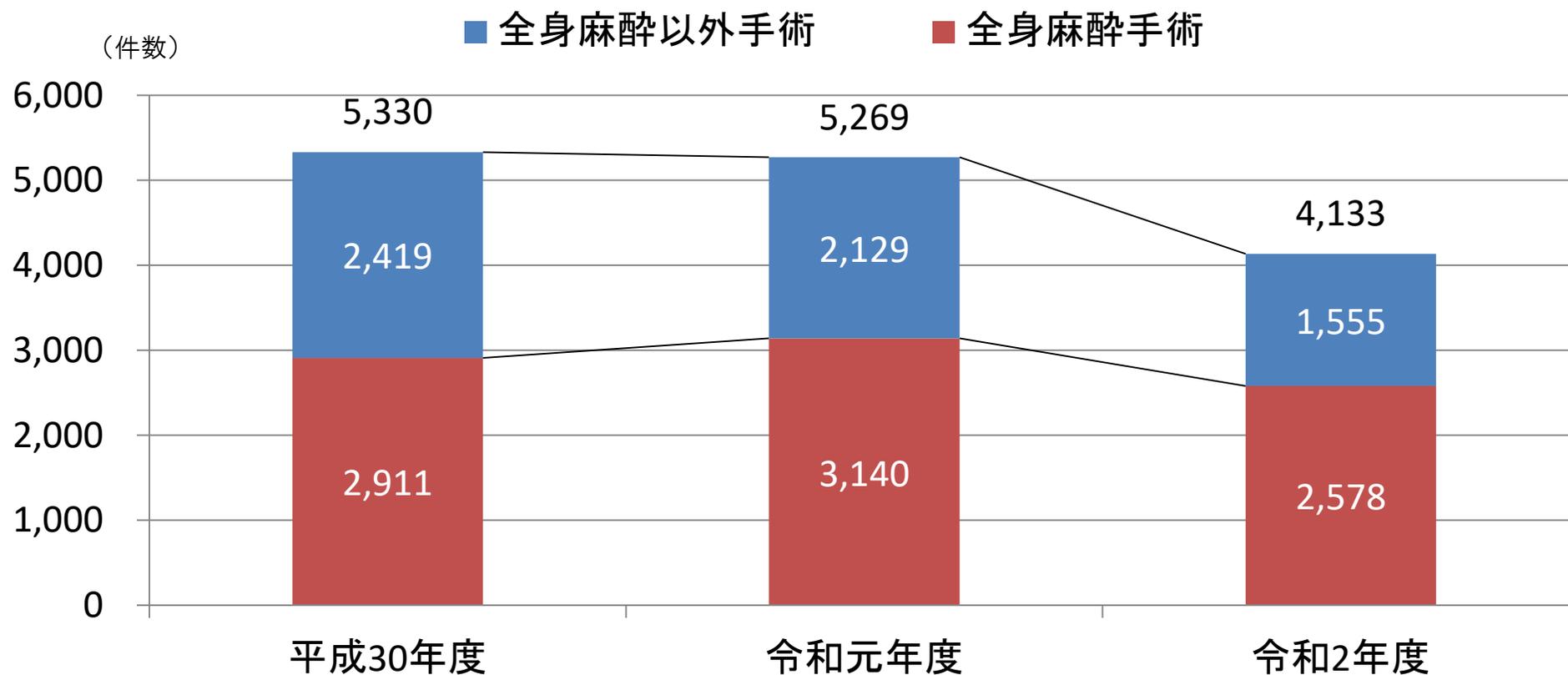
・平成30年度と比べ、令和元年度は▲3,404人(▲1.2%)、令和2年度は▲51,798人(▲17.7%)で、さらに減少。

4. 救急



・令和2年度は、令和元年度と比べ応需件数▲2, 024件(救急応需率▲11.7%)

5. 手術



* 一般診療の抑制、不急手術の延期・制限等により手術件数減少(令和元年度比: ▲21.6%)

6. 決算状況①(収益的収支:収益)

(税込、単位:千円)

		令和元年度	令和2年度	増減
病院事業収益 (A)		19,443,196	20,493,001	1,049,805
	医業収益	17,753,815	15,009,131	▲2,744,684
	入院収益	11,662,845	9,680,954	▲1,981,891
	外来収益	5,279,900	4,616,672	▲663,228
	その他医業収益	811,070	711,505	▲99,565
	医業外収益	1,689,381	5,483,870	3,794,489
	他会計負担金	542,617	529,908	▲12,709
	他会計補助金	390,641	440,409	49,768
	補助金	74,448	3,894,018	3,819,570
	長期前受金戻入	483,935	478,651	▲5,284
	その他医業外収益	197,707	140,863	▲56,844

* 医業収益は、患者数減少により入院・外来収益ともに減少

* 医業外収益は、国や大阪府による空床補償や機器整備の補助金等により増加

6. 決算状況②(収益的収支:費用等)

(税込、単位:千円)

		令和元年度	令和2年度	増減
病院事業費用 (B)		20,192,680	19,650,542	▲542,138
	医業費用	19,941,046	19,408,133	▲532,913
	給与費	9,837,654	9,998,507	160,853
	材料費	5,495,793	4,827,805	▲667,988
	経費	3,165,175	3,243,732	78,557
	減価償却費	1,375,300	1,240,533	▲134,767
	資産減耗費	8,844	65,426	56,582
	研究研修費	58,280	32,130	▲26,150
	医業外費用	251,634	242,409	▲9,225
	支払利息及び企業債取扱諸費	212,572	184,562	▲28,010
	看護師等確保費	7,972	10,547	2,575
雑損失	7,633	30,694	23,061	
資本勘定消費税等 (C)		88,267	101,394	13,127
当年度純利益(▲純損失) (A-B-C)		▲837,751	741,065	1,578,816
医業収支比率		92.1%	80.2%	▲11.9%
経常収支比率		95.9%	103.8%	7.9%

* 給与費は、普通昇給に伴う増加、制度改正及び新型コロナウイルス感染症対応に伴う手当が増加
 * 材料費は、一般診療の制限により薬品費、診療材料費ともに減少
 * 病院事業収支は、約7.4億円の純利益

6. 決算状況③(資本的収支)

(税込、単位:千円)

		令和元年度	令和2年度	増減
資本的収入 (D)		1,779,481	1,806,783	27,302
	企業債	882,600	737,000	▲145,600
	他会計負担金	895,441	898,363	2,922
	国庫補助金	0	2,755	2,755
	府補助金	1,440	150,219	148,779
	寄附金	0	18,446	18,446
資本的支出 (E)		2,612,730	2,595,921	▲16,809
	建設改良費	1,133,711	1,116,442	▲17,269
	施設改良事業費	156,774	365,888	209,114
	院用備品購入費	976,937	750,554	▲226,383
	投資	0	17,776	17,776
	企業債償還金	1,479,019	1,461,703	▲17,316
差引不足額 (E-D)		833,249	789,138	▲44,111

* 施設改良事業として、病棟管理システム更新工事や手術室空調設備改修工事等を実施

* 院用備品(医療機器等)として、臨床検査機器、手術室及びICUの生体情報モニタリングシステム、全身麻酔装置等を購入

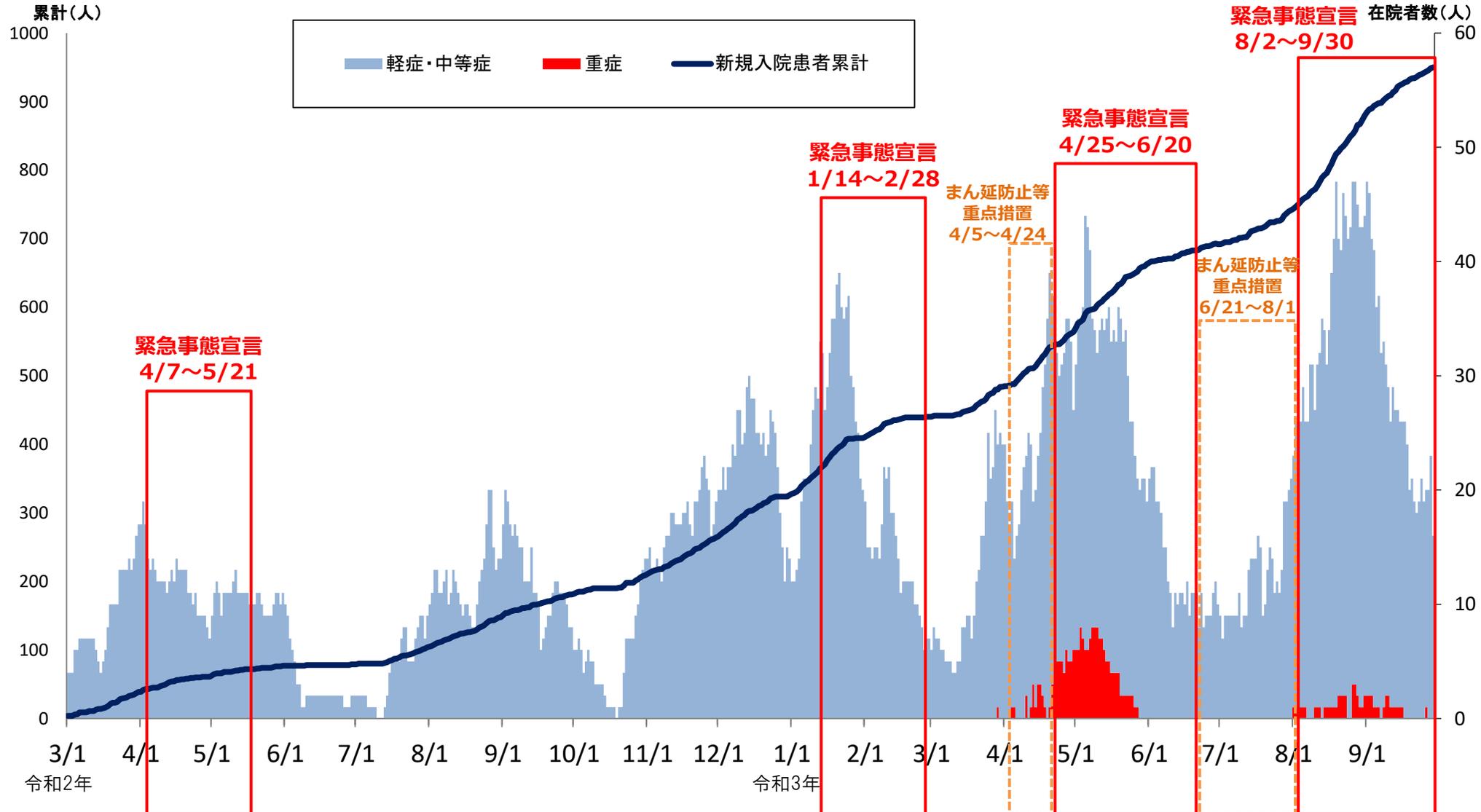
新型コロナウイルス感染症 への取組み

1. 新型コロナウイルス感染症への対応について

- 当院は、地域の中核病院及び感染症指定医療機関として、感染流行の初期から新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、他の医療機関では受入困難な小児や人工透析者、妊産婦を含む、主に軽症・中等症の感染者の診療を担ってきた。また、これに加え令和3年度より、重症患者の受け入れを開始。
- 感染症患者を受け入れるため、一般病棟を感染症専門病棟として転用するとともに、感染拡大時には、一般診療を一部制限しながら、感染動向に応じた診療体制の再編に取り組んだ。

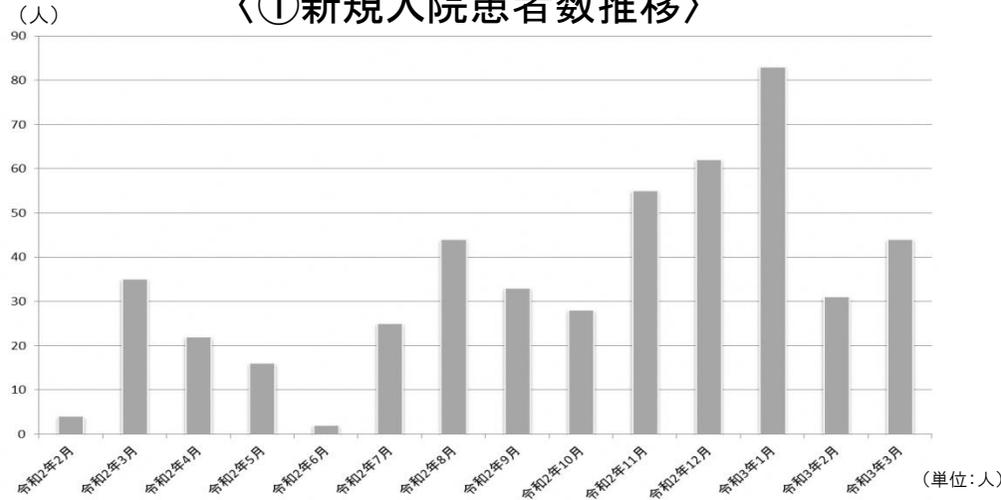
※令和3年9月末現在 2病棟(54床)をコロナ診療で運用中

2. 新型コロナウイルス感染症入院患者の推移

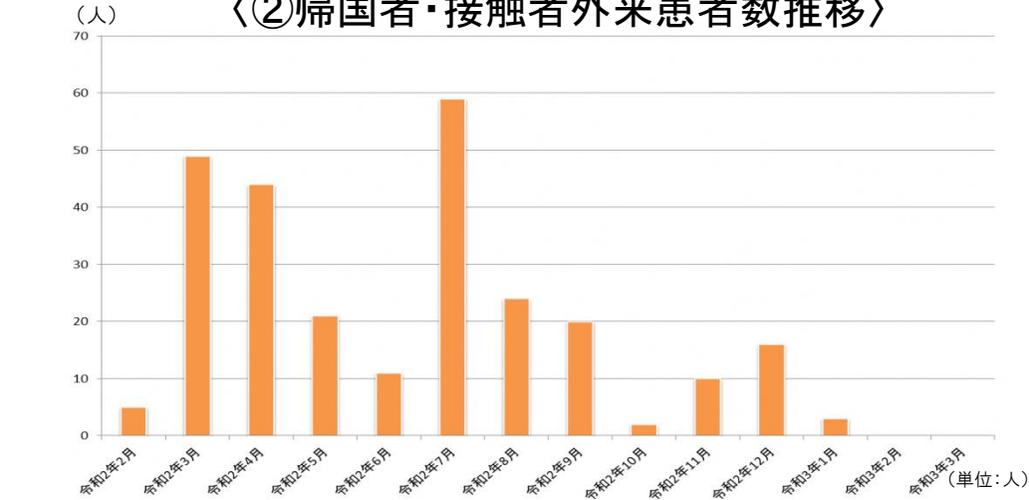


3. 新型コロナウイルス診療実績

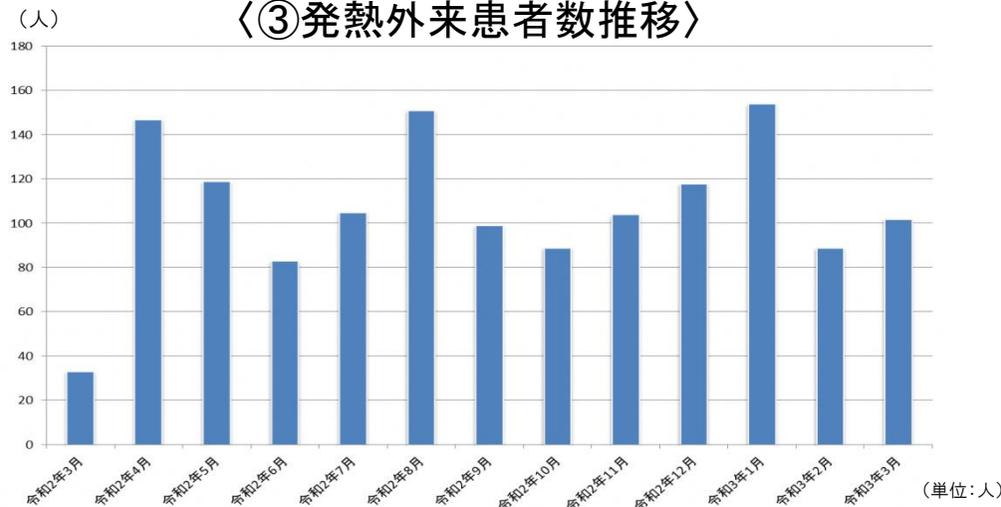
〈①新規入院患者数推移〉



〈②帰国者・接触者外来患者数推移〉



〈③発熱外来患者数推移〉



3. 新型コロナウイルス診療実績

〈小児・周産期・人工透析受入患者数(令和2年度実績)〉

①小児

小児入院受入数	小児発熱外来受診者数
25人	137人

②周産期

妊産婦入院受入数	うち分娩数
20人	6人

③人工透析

維持透析患者数	透析実施回数
25人	171回

〈院内における新型コロナウイルスの検査実施件数(令和2年度実績)〉

検査項目		検査件数
核酸増幅検査	LAMP法(鼻咽頭)	450件
	PCR法(鼻咽頭)	1,660件
	PCR法(唾液)	919件
抗原定性検査(鼻咽頭)		103件
抗原定量検査(鼻咽頭)		951件
生理機能検査	心電図	209件
	心エコー	4件
	血管エコー	3件

4. 主な対応(令和2年2月～8月)

・令和2年

2月22日:感染症病棟でのコロナ患者受入れ開始(8床)

3月17日:発熱外来設置

3月24日:一般病棟(1病棟)のコロナ病棟運用開始(1病棟12床)
入院・外来診療制限の開始

4月 7日:**第1回緊急事態宣言(～5月21日)**

4月24日:コロナ病棟増加(2病棟)・病床増床(30床)

5月 1日:救急体制の変更(受診制限など)、面会禁止の開始

5月12日:コロナ病床増床(2病棟45床)

8月 3日:コロナ病床縮小(2病棟35床)

8月24日:大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定

8月27日:院内検査開始:LAMP法、抗原定性検査

4. 主な対応(令和2年9月～令和3年3月)

・令和2年

- 9月 4日:新型コロナウイルス対策寄附(クラウドファンディング形式)開始
- 9月 7日:AI体温検知システム設置(来院者発熱チェック開始)
- 10月26日:院内検査変更:LAMP法→PCR法
- 11月27日:コロナ病床増床(2病棟45床)
- 12月 7日:重症化患者の入院継続開始(2名程度まで)
- 12月11日:大阪コロナ重症センターに看護師1名派遣
- 12月18日:院内検査変更:抗原定性→抗原定量(24時間対応)
- 12月25日:コロナ病床増床(2病棟54床)

・令和3年

- 1月14日:**第2回緊急事態宣言(～2月28日)**
- 1月19日:大阪府からの10床増床要請(54床→64床)
- 3月 1日:コロナ病床縮小(2病棟35床)
- 3月 9日:院内職員を対象としたワクチン接種開始

4. 主な対応(令和3年4月～令和3年8月)

・令和3年

4月 5日:コロナ病床増床(2病棟54床)

4月 9日:コロナ病床増床(2病棟60床)

4月25日:**第3回緊急事態宣言(～6月20日)**

5月 1日:大阪府からの大型連休中の患者受入体制確保の要請を受け、入院・外来診療制限の開始(～5月31日)

5月 1日:重症病床の増床(2床→12床)、人員確保のため2病棟閉鎖

5月 4日:重症病床の増床(12床→16床)

6月22日:コロナ病床縮小(2病棟35床)

6月28日:大阪府に対して、中等症・重症一体型病院①として申請

8月 2日:**第4回緊急事態宣言(～9月30日)**

コロナ病床増床(2病棟54床)

5. 院内での感染拡大防止への取組み

代替ガウンの作製
(令和2年4月20日～)



〈窓口ビニールカーテンの設置〉



AI体温検知システムの導入
(令和2年9月7日～)



オンライン面会の開始
(令和2年12月1日～)



UV消毒ロボットの導入
(令和3年3月25日～)



など

6. 地域での感染拡大防止に向けた主な取組み

- ・小中学校向けの感染防止対策動画の作成



- ・豊中市内医療施設向けにコロナ感染対策オンライン研修実施

テーマ	参加者数
COVID-19感染対策について	73名
クラスター発生時、どう動く	147名
施設内環境エトセトラ	116名

- ・ クラスター発生施設への支援
(2施設 延べ6回)
- ・ 高齢者福祉施設への感染対策支援の企画調整(※令和3年4月から23施設に実施)



7. 寄附、寄贈の状況

延べ312の団体や個人から、温かいご支援をいただきました。



主な寄附、寄贈品

マスク、フェイスガード、防護服、
感染予防用品、応援メッセージ、
寄附金(18,446千円)など

市立豊中病院新型コロナ対策基金(クラウドファンディング)を開設
(令和2年9月4日～)

金 額: 6, 120, 823円(令和3年3月末時点)

寄附金の活用: 医療用マスクや手袋、フェイスシールド、ガウン、消毒液の購入

今後の対応について

- ◆ 経済活動の再開による人流増加に対し希望者のワクチン接種完了への取組みが各自治体で加速的に進められているが、冬季の到来、新たな変異株の動向、ブレークスルー感染など、再流行を危惧する要因もあり、第6波への備えが必要となっている。
- ◆ 当院は、急性期中核病院が担う高度専門医療を行ないながら、他院での受け入れが困難な小児や周産期、透析を必要とする感染者をはじめ、重症・中等症の感染症診療を継続していく。
- ◆ 経営面では、医業収益の減収、とりわけ入院収益の減収回復を当面の課題として、限られた一般病床を活用し、救急医療や一般医療の患者受け入れに取り組むことで安定した病院経営をめざすとともに、必要な措置を国や府に対し、求めていく。